

礼拝メッセージ アウトライン 2015-3-1

タイトル 《ひと の創造》

聖書箇所 創世記 1:26-31 2:7

起 ◎ 新聞記事 悲しい事件、上村（うへむら）りょうた君の話。
中学高校生の現実 格闘、いのちの尊厳が分からない時代になっている。

◎聖路加病院名誉院長のクリスチャンドクター、103歳の日野原重明先生は
小学5年生に対して《いのちの授業》をしておられる。

承 創世記に書かれているいのちの誕生について

1:26 神は仰せられた。「さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。彼ら
が、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配するよう
に。」

1:27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女と
に彼らを創造された。

1:31 神はお造りになったすべてのものを見られた。見よ。それは非常に良かった。夕があ
り、朝があった。第六日。

植物、動物、人間《みんな命を持っています》 みんな生きています。
しかしその差は神様の人間創造の時点で大きく異なっています。
この差は何でしょう？

人間は身体と心と魂を持っている存在 身体、心、たましい

《どうして人間は殺してはいけないの？》 進化論の間違い。

人間の尊厳 神の“かたち”として造られた 創世記2:7

転、◎見えるものと見えないもの

まばたきの詩人として知られる水野源三さんの話
水野源三さんが大好きな聖句は

たましい の認識 見えるものと見えないもの
Ⅱコリ

4:18 私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。
見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。

そして、もう一人 星野富弘さんの話

◎ 二つのいのち

『人は、たとえ全世界を手に入れても、まことのいのちを
損じたら、何の得がありません。』

そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せ
ばよいでしょう。』マタイの福音書16章26節

いのちが一番大切なこと
思っています
生きるのが苦しかった
いのちより大切なものは
あると気づいた
ほまえるのが
嬉しかった





結 ほんとうのいのち

◎神様は人をご自身のかたちとして創造された。

◎人は二つのいのちを持つ。 身体の生命、こころのいのち

◎わたしたちの世界には、見えるものと見えないものがある